

## <ポイント版> ぎふ経済レポート（平成 29 年 5 月分）

### 【景況感】

景気は緩やかに回復している。

### 【製造業】生産、受注は持ち直しの動きが継続している

○製造業は、9年ぶりの高水準となった輸送機械（主に自動車産業）を中心に、はん用機械やプラスチック製品などの幅広い産業で底堅い動きが見られ、全体としては持ち直しの動きが継続している。

### 【地場産業】厳しい状況が継続しているが、持ち直しの動きもみられる

○地場産業は、海外製品等との競合、国内需要の低迷、原材料費高騰による収益の圧迫など厳しい状況が継続しているが、生産に持ち直しの動きもみられる。

### 【設備投資】投資実績は底堅く推移するとともに、投資意欲も改善している

○設備投資は、国内の金属工作機械受注額が、前年同月比で増加するなど、底堅く推移している。特に人手不足への対応のために「生産能力拡大・売上増」、「合理化・省力化」といった設備投資へのニーズが高まっている。

### 【個人消費】消費は緩やかに回復しつつある

○個人消費は、実質賃金が伸び悩む中、大型小売店等の売上は前年同月比で弱含むなど一部で弱さも見られるが、新車販売台数や軽自動車の販売台数は堅調な推移を見せており、総じて持ち直しの動きが継続している。

### 【観光】宿泊客数は減少しているものの、観光客数は増加している

○観光では、リニューアルオープンした施設など話題性がある施設の観光客数の増加や、1ヶ月を通して天候に恵まれたことにより屋外施設利用者数が増加し、全体として観光客数が増加となった。一方、宿泊者数は減少となった。

### 【資金繰り】資金繰りは悪化傾向が継続、借入難易感も改善している

○企業の資金繰りは、借入難易感が改善するなか、全体的には事故報告や倒産件数も減少傾向にあるが、一方で経営体力に乏しい小規模企業においては厳しい状況が継続している。

### 【雇用】雇用情勢の改善とともに、人手不足感が拡大している

○雇用面は、完全失業率、有効求人倍率、学生就職内定率等の関連指標は、良好に推移しており、総じて県内の雇用情勢は着実に改善している。但し、人材が大手企業に流れ、多くの中小企業では採用難に陥っており、人手不足が慢性化している。